



創造みらい半田 久世孝宏

コロナ後の半田市を  
描こう

**問** 新型コロナウイルス感染症により訪れる大きな転換を見据えて、コロナ後の半田市のまちづくりを考えていますか。

**答** 現在策定中の第7次総合計画においては、コロナ禍も踏まえた視点でまちづくりの方向性を位置づけ、小中学校や市役所などでのICTの活用や地域経済の復興など、新しい生活様式への対応を盛り込んでいきます。

**問** 半田市は住みやすい市へのアクセスがよい上、歴史や文化、自然がある等、テレワークを行う場所として適しています。分散型社会への転換、働き方改革を含むライフスタイルの転換を見据え、テレワークを推進し、それに伴うまちづくりを行ってはどうですか。

**答** テレワークにより勤務し、必要があれば本社へ短時間で移動可能な半田市にとって、サテライトオフィスの誘致は大きな可能性があります。

さらには、現在進めている市内の空き家対策の活用方法の一つとしても考えられます。新たな働き方としてのテレワークの動向を見据え、有効性を研究していきます。

社会的課題の解決のために、成果連動型契約方式の活用を

**問** 成果に応じて支払われる対価が変動する成果連動型民間委託契約という方式があります。医療や介護、貧困など放っておけば将来増加が予想される社会的コストを予防的に削減するために、成果連動型民間委託契約方式を活用していくべきと考えますがどうですか。

**答** 既に一部取組みが始まっていますが、より高い成果を得られたという評価がある一方で、成果指標やその評価方法など、対応が難しいとの意見もあります。国はこうした声を受け、令和3、4年度で、適正な成果指標や評価基準等のガイドラインを定め、普及促進を図ることとしています。半田市においても、このガイドライン、先進事例等調査研究の上、導入の可否を判断していきます。



創造みらい半田 水野尚美

半田市役所における  
雇用施策

**問** 障がい者雇用についての考えを伺います。

**答** 障がい者雇用を推進するという観点から、半田市では毎年障がい者を対象とする採用試験を行っており、今後も障がい者である職員が活躍しやすい職場づくり等を進め、定着を図ります。

**問** 雇用に関して、どの機関とどのような連携をしていますか。また、障がい者自立支援協議会就労部会に出席するなど連携してはどうですか。

**答** 過去には特別支援学校と連携し、知的障がい者を採用した実績があります。今後も新規採用職員やインターンシップを募集する際に、障がいのある学生の受入れについて案内を丁寧に行い、採用につながるよう努めると共に、就労部会とも連携します。

**問** 雇用推進には、職員の障がい者理解が必須と考えますが、研修などはどのようにしていますか。また、研修講師を

様々な障がい当事者の方に依頼してはどうですか。  
**答** 障がいのある方の理解を深め、必要な配慮を学ぶ機会として、毎年実施しています。幅広い障がい者理解を深めるために様々な声を聞くこと、機会を作ることは大切だと思つたため、障がい当事者の方々に依頼しています。

**問** 課題に対し、具体策をどのように考えているのか伺います。

**答** 採用においては、市内の特別支援学校との連携を深め、知的障がいの方にも職場実習機会を提供することで業務に対する理解をしていただき、計画的に採用しています。また、職場で障がいのある職員が安心して働くことができるよう、職員研修や、職場内でのコミュニケーションなどで、差別のない職場環境づくりに努めます。

**問** 新型コロナウイルス感染症の状況が好転しない場合、雇用支援の次なる策をどのように考えていますか。

**答** 新たな雇用が必要となった場合は、より多くの方に応募してもらえるよう分かりやすい広報に努め雇用していきます。



公明党 坂井美穂

避難所における感染  
症対策と災害関連死  
ゼロへの取組み

**問** 避難所における感染症対策として準備していることは何ですか。

**答** 今年、県が作成したガイドラインに基づき、避難所の拡充、滞在スペースの拡大、検温や問診等による避難者の健康確認、体調不良者用の専用室配備ができるよう準備を進めています。

**問** 断水になった場合に屋内トイレは利用できますか。

**答** 建物の被害が小さく、断水だけの問題であれば、消臭・凝固剤の入った便収納袋を便座に設置することで、利用が可能となります。

**問** 和式トイレの場合はどうなりますか。

**答** ダンボールトイレを設置する予定です。

**問** ダンボールトイレは固定できないため、要配慮者が使用するには安全性に懸念があります。また、県のガイドラインに沿った消毒ができませんが、見解をお聞かせく

ださい。  
**答** 要配慮者には屋外に設置する障がい者用トイレを使用していただきます。ダンボールトイレは定期的に交換することになります。

**問** 要配慮者が、雨天や夜間などに、屋外のトイレに足を運ぶのは危険が伴います。自動ラップ式トイレ「ラップポーン」は、感染症対策ができ、災害関連死ゼロへも繋がるため、半田市でも導入していただきたいと思つています。市長の見解をお聞かせください。

**答** 価格と既に使用している自治体の実情を一度調査します。

**問** 食材が届いても炊事ができない状況にならないように、包丁やまな板、カセットコンロ、使い捨ての食器などの配備と献立立案の訓練も必要であると考えます。見解をお聞かせください。

**答** 半田中学校区では、炊事を含めた避難所運営訓練を行っており、マニュアルを作成しました。必要なものは配備していきます。半田中学校区の避難所運営を参考に、今後、他の避難所にも配備できるよう進めていきます。

